



in Hirakata



No. 5

Contents

6年間のサポーター活動を振り返って

情報科学研究科 2年 藤田 和典

pp.1-2

舞台が近畿にある本

IM科 1年 中出 恵美

pp.3-4

三秋縊さんのおすすめ小説

IC科 1年 渡辺 一貴

pp.5-8

地下鉄九条から大正までぶら歩き

IN科 1年 上埜 空

pp.9-10

日本の神様 ヒルコ

IN科 1年 中村 文哉

pp.11-15

6年間のサポーター活動を振り返って

情報科学研究科 2年 藤田 和典

2014年に入学してから6年間、ライブラリーサポーター活動に携わってきました。大学院修了にあたり、紙面をお借りして振り返ってみたいと思います。

新入生ガイダンスで図書館スタッフから説明を受けたこと、本が好きだったこと、高校生のとき図書委員だった経験からサポーターに参加しました。主に活動しているのが私一人だったため、選書と書架整理などに取り組んでいました。

年次が上がるにつれて、後輩が参加してくれるようになり、活動の幅が広がりました。2015年に「ビブリオバトル」を企画してくれたので、活動を広報するために本誌「Libe! in Hirakata」も発行するようになりました。「ビブリオバトル」を始めた頃は、発表者4名以上という規定に満たなくて、代打として何度も発表しました。最近では、「ビブリオバトル」が学内にも周知され代打が必要のないくらい、大きなイベントへと成長しました。学生生活最後の思い出にしようと思って参加した大会で、まさか全国大会に出場できるなんて思っていませんでした。

さらには、天文学研究部に所属していたことがきっかけで2度もプラネタリウムを開催することができました。

6年間のサポーター活動を通して様々な経験をすることができました。様々な提案を受け入れてくださった、大阪工業大学図書館の皆様へ心から感謝します。



写真左：ラーニング・コモンズにて開催された全国大学ビブリオバトル2019 地区予選会での発表者集合写真
(右から2人目が筆者)

写真下：プラネタリウムで星座の解説をする筆者



舞台が近畿にある本

IM科1年 中出 恵美

『つれづれ、北野坂探偵舎』河野裕 角川文庫



駅前からゆるやかに続く神戸北野坂。その途中に佇むカフェ「徒然珈琲」には、ちょっと気になる2人の”探偵さん”がいる。元編集者の佐々波さんと、天才作家だけどいつも眠たげな雨坂さん。彼らは、まるで物語を創るように議論しながら推理する。大学生のユキは、2人に「死んだ親友の幽霊が探している本を見つけてほしい」と依頼する。全6巻。

神戸は何度か行きましたが、オシャレですね。そんなオシャレな場所で、物語が繰り広げられます。推理する人が編集者と作家というだけあって、他の探偵小説とは違った、独特の雰囲気を持っています。また、この物語でカギになるのが幽霊の存在です。真実が明らかになったとき、切なく、それで

いて温かい気持ちになります。最後は
一気読みしたくらい、感動する本です！



『四畳半神話大系』 森見登美彦 角川文庫



私は冴えない大学3回生。バラ色のキャンパスライフを想像していたのに、現実には程遠い。悪友の小津には振り回され、謎の自由人・樋口師匠には無理な要求をされ、孤高の乙女・明石さんとはなかなかお近づきになれない。いっそのこと、ぴかぴかの1回生に戻って大学生活をやり直したい！ さ迷い込んだ4つの並行世界で繰り広げられる、滅法おかしくて、ちょっぴりほろ苦い青春ストーリー。

舞台は京都。出町柳付近なので、京阪電車で行くことができます。4章構成になっていて、それぞれ微妙に違った物語が、同じ場所で展開されます。そして、文章のテンポがとても良く、読むのが楽しい。主人公の冴えない大学生活の様子に、こうはなりたくないなと思いつつも、「何か共感できる」主人公の心情が多く描かれています。ちなみに、レポートを代わりに書いてくれる「印刷所」が出てきますが、うらやましいですね。



三秋 縊さんのおすすめ小説

IC 科 1 年 渡辺 一貴

『三秋 縊とは』

三秋 縊（みあき すがる）は1990年生まれの岩手県出身の小説家。

2011年から2013年にかけて2ちゃんねる内で「げんふうけい」名義で「人を自殺させるだけの簡単なお仕事です」、「十年巻き戻って、十歳からやり直した感想」、「寿命を買い取ってもらった。一年につき、一万円で。」などを発表。

2013年9月、メディアワークス文庫にて、「十年巻き戻って、十歳からやり直した感想」に加筆・修正したものを「スターティング・オーバー」と改題し、出版。作家としてデビューした。（Wikipedia 参照）

『三秋縊の魅力とは』

1. 不幸の中で幸せをつかむ物語

彼の作風は「恋愛」と「SF」の2つジャンルを組み合わせたものです。登場人物は皆何かしらの「闇」を抱えており、負の状態にあります。そこに、非現実的な要素が絡み合い、「愛」という形で彼らは自分の存在意義や価値を見出していきます。絶対起こりうることはない出来事が妙に生々しく、そして美しく感じさせてしまう、暗い世界観の中で一縷の光を描くのが本当に上手だと感じました。

2. メリーバッドエンド

皆さんはメリーバッドエンドという言葉聞いたことがありますか。

メリーバッドエンドとは人の視点によってその物語がハッピーエンドであったか、バッドエンドであったかの意見が分かれることです。

物語の中の当人たちには幸せな結末であったかもしれませんが、しかし、物語の中の当人以外あるいは私たちの目には、彼らは不幸な結末であったと感じてしまうかもしれません。第一人者的視点や客観的視点等、少し視点を変えるだけで、驚くほどに見え方も感じ方も違って来る、三秋縊さんの作品とはまさしくそういうものなのです。

『私のおすすめ作品』

三日間の幸福



どうやら俺の人生には、今後何一つ良いことがないらしい。寿命の“査定価格”が一年につき一万円ぼっちだったのは、そのせいだ。未来を悲観して寿命の大半を売り払った俺は、僅かな余生で幸せを掴もうと躍起になるが、何をやっても裏目に出る。空回りし続ける俺を醒めた目で見つめる、「監視員」のミヤギ。

彼女の為に生きることこそが一番の幸せなのだ気付く頃には、俺の寿命は二か月を切っていた。

いたいのいたいの、とんでゆけ



「私、死んじゃいました。どうしてくれるんですか？」何もかもに見捨てられて一人きりになった二十二歳の秋、僕は殺人犯になってしまった——はずだった。僕に殺された少女は、死の瞬間を“先送り”することによって十日間の猶予を得た。彼女はその貴重な十日間を、自分の人生を台無しにした連中への復讐に捧げる決意をする。「当然あなたにも手伝ってもらいますよ、人殺しさん」

復讐を重ねていく中で、僕たちは知らず知らずのうちに、二人の出会いの裏に隠された真実に近付いていく。それは哀しくも温かい日々の記憶。そしてあの日の「さよなら」。

恋する寄生虫



何から何までまともではなくて、しかし、紛れもなくそれは恋だった。「ねえ、高坂さんは、こんな風に考えたことはない？ 自分はこのまま、誰と愛し合うこともなく死んでいくんじゃないか。自分が死んだとき、涙を流してくれる人間は一人もいないんじゃないか」

失業中の青年・高坂賢吾と不登校の少女・佐藤ひじり。一見何もかもが噛み合わない二人は、社会復帰に向けてリハビリ

りを共に行う中で惹かれ合い、やがて恋に落ちる。しかし、幸福な日々はそう長くは続かなかった。彼らは知らずにいた。二人の恋が、<虫>によってもたらされた「操り人形の恋」に過ぎないことを――。

※各作品のあらすじは Amazon 該当資料ページの内容より引用

地下鉄九条から大正までぶら歩き

IN 科 1 年 上 埜 空

突然ですが、私は最近運動不足を実感していたので、まずはウォーキングを試してみようと考えました。もともと、友人と京セラドーム大阪での野球観戦を約束していたので早めに行つて周りを歩いてみようと考え、スタートを地下鉄九条駅、ゴールを大正駅として歩きました。

まず私は地下鉄九条駅から京セラドーム大阪を目指しました。



駅から降りるとすぐにナインモール九条という商店街があります。それは、3つの商店街の総称でその中の九条駅前商店街に行きました。

URL:<http://kujoh.com/>参照

そこには、食べ物屋さんや百円ショップ、駄菓子屋さんなどが出店しています。私はこの商店街を数回通ったことがあるのですが、最初に訪れた時にびっくりしたことがあります。それは、その商店街に訪れた人は、商店街の通路の真ん中に自転車を止めていることです。私は、多くの商店街に訪れたことはありませんが、このような光景は見たのは初めてでした。しかし、このような配置にしていることにより、見栄えがよく、またそれぞれの店にもすぐ入りやすいと感じました。



そしてその商店街を抜け、5分ほど中道を通るとイオンモールが見えてきます。このイオンモールができたのは6年ほど前で、それまでは周りにコンビニエンスストアしかなく、野球観戦の食べ物や飲み物は家から持っていくか、ドームの中で食べるかしかなかったのが、今ほとても便利になったと感じています。そしてイオンの周りを歩いている遠くにスーパービバホームというホームセンターが見えてきます。中に入ってみました。が、とても広く全部のコーナーを見回すことはできませんでした。このイオンモールとホームセンターがあれば生活に困らないなあと思ひ、周辺の人がうらやましく感じました。



そのホームセンターを出て大正駅に向かう途中で、試合開始の4時間ほど前だったので前から大勢の野球観戦をする人たちが歩いてきてとてもびっくりして、野球人気はすごいと感じました。そしてホームセンターをでて、5分程度で大正駅に着きます。駅周辺は外食屋さんたちが立ち並びとても栄えていました。

これで私のウォーキングは終わったのですが、私みたいに運動不足を気にしている方は、ぜひ、大阪工業大学の図書館で旅のことや、ウォーキングコースが掲載されている本を見てみてください。それらの本を見てみるとそこに行きたいという好奇心が勝ち、実際に行き歩いてみると充実感が増し、歩くのが楽しいと感じられると思いますし私はそう感じました。



ちなみに、私が歩いた京セラドーム大阪周辺をもっと歩きたいと考えている人は、図書館に「関西ウォーキングコースガイド」という本があるのでよかったら参考に見てみるのもいいかなと思います。

配置場所：工枚普通図書

請求記号：296.6||N

資料 ID：98090757

日本の神様 ヒルコ

IN 科 1 年 中村 文哉

神話って世界のどこにでもありますよね。日本だと古事記や日本書紀がそれにあたります。神話は昔を生きた人々が後世に残した、神々やその神々が作り出した世界の歴史であるといえます。

一方で、歴史とはいつの時代も不都合な部分は隠され、よく書き換えられているものです。ならば古事記や日本書紀といった神話も例外ではないかもしれません。

今回はそんな日本神話の中から、存在が消されたある一柱についてお話します。

古事記、そして日本書紀ではイザナギとイザナミが^{くにう}国産みの中で日本の四国や淡路島なんかの島を生み、そしてスサノオや天照大神といった様々な神様も生み出しました。

そんなイザナギとイザナミが生み出した神々の中に、二柱の子どもであるにも関わらず子どもであると認められず、葦で作った船に乗せて海に流されて捨てられた神様がいました。

それが **ヒルコ** 様でした。

なぜ神様であるにも関わらずヒルコという手も足もない気持ち悪い生き物の名前がつけられたのか。

一つの解釈として、ヒルコは手足がない奇形児として生まれてきたためそのような名前になったのではないかと考えられます。

そんなヒルコには海に流されて捨てられた後の話があります。ヒルコは海に流された後、水死体となり、ある島にたどり着いたと言われています。当時の日本人は海の向こうからやってきたものは神様であると認識されていました。また、当時の漁師の間では水死体が上がると魚が大量にとれると言われていました。

なのでこのヒルコは縁起が良いため、海や水に関する神様としてヒルコ水蛭子と書かれるようになりました。

そしてこの水蛭子は皆さんもよくご存知の七福神の一柱であり、とても縁起が良いとされるえびす恵比寿様と同一人物であるとされています。恵比寿様はふくよかなぷっくりとした身体をしており、耳も長く伸びていることも水死体となったヒルコと同一であると考えられる事ができる要素の一つです。漢字も両方とも、蛭子(ヒルコ)・蛭子(エビス)と書けます。

ヒルコに関する謎はこれだけではありません。



◀恵比寿

／神仏ネット

<https://shint>

[o-](https://shint)

[bukkyo.net/s](https://shint)

[hinto/kamisa](https://shint)

[ma/恵比寿様/](https://shint)

ヒルコの綴りには蛭子や水蛭子だけではなく別の綴りもあるとされます。

それが^{ヒルコ}昼子と^{ヒルコ}日る子の2つです。

こう書くと海の神というよりも太陽の神のような印象になりますね。

ただ日本には**天照大神**という太陽神がすでにいるので太陽神かぶりしてしまいます。

そんな天照大神ですが、本名ではないんです。

天照大神の本名は**ヒルメ**って言うんです。

ヒルコとヒルメはどちらも親は一緒なので名前が似ているのかもしれない。男と女で対を表しているような名前ですね。ちなみに双子という説もあります。なのに先に生まれたはずのヒルコが表に出ることがなくヒルメが太陽神をやっているのってなぜなのでしょうか。



◀
天照大神／
八百万の神
オラクルカード

この二柱の太陽神は同じ太陽を指しているのではなく、ヒルコは早朝から昼にかけての太陽、ヒルメは昼から夕方にかけての太陽のことなんです。

また、ヒルコは日御子、日の巫女、太陽の化身。日本における有名な日の巫女は邪馬台国の卑弥呼。これが何を意味するのかというと縄文人と弥生人の対比です。狩猟民族は朝に狩りに出て午後はゆっくりするのに対し、稲作民族は夕方になったら農作業をしていました。

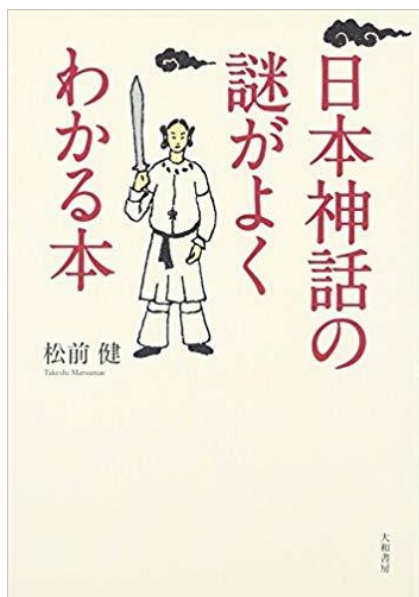
これらのことから読み解けることは、縄文文化を表すヒルコは敗北し、弥生文化を表すヒルメが勝利したということの意味しているのではないかと思います。



▲ 恵比寿(ヒルコ)を祀る西宮神社

以上で今回のお話は終わりますが、このお話は様々な説の中の一つです。神話は実話と作り話が混じり合ったいわば都市伝説のようなものです。都市伝説は考察するもの。今回紹介したお話以外にもヒルコ様や他の様々な神様のお話はたくさんあります。

これに興味を持った皆さんはいろいろな本を読み、いろいろな考察をしてみてください。



◀日本神話の謎がよくわかる本

／大和書房

工枚普通図書

請求記号 164.1||M

資料ID 98071220

編集：河野 長智 (IC 科 2 年)

中島 優 (IC 科 2 年)

執筆：藤田 和典 (院 2 年)

中出 恵美 (IM 科 1 年)

渡辺 一貴 (IC 科 1 年)

上埜 空 (IN 科 1 年)

中村 文哉 (IN 科 1 年)

発行：2020 年 3 月

ライブラリーサポーター募集中！

図書館では本の返本や書架整理、選書、フリーペーパー作成、イベントの企画・運営などのサポーター活動に参加してくれる方を随時募集中です！

もし活動にご興味ございましたら図書館カウンターまで是非お声がけください！

大阪工業大学図書館 枚方分館
フリーペーパー
Libe! in Hirakata No.5



【編集発行】

大阪工業大学図書館 枚方分館 ライブラリサポーター

表紙デザイン:情報メディア学科 1年 中出 恵美



Thank you for reading.